

2020年5月26日

各 位

小野田工場 ボイラーの燃料転換について

日産化学株式会社（本社：東京都中央区、社長：木下小次郎）は、小野田工場（山口県山陽小野田市）にて20年以上使用してきたA重油焚きボイラーを、天然ガス焚きボイラーに更新することを決定しましたので、お知らせします。今回の燃料転換により、小野田工場単体で温室効果ガス（以下GHG）排出量の9.1%削減を見込んでおります。

1. 背景

小野田工場は、1910（明治43）年に日本で初めて農薬を工業生産し、以来ライフサイエンス製品として殺虫剤・殺ダニ剤、除草剤などの農薬、動物用医薬品原薬や、高脂血症治療薬などの医薬品原薬に加えて、有機ファインケミカル製品を生産しています。小野田工場の既存A重油焚きボイラーは設置の1998年から22年経過しており、近年では老朽化が進んでいました。

今回、GHG排出量削減、ボイラー燃焼効率向上、省力化、保全強化（予兆保全）といった観点から、燃料を天然ガスとするボイラーに更新します。

2. ボイラー更新による工事概要

ボイラー更新、ボイラー室新設、天然ガス配管新設、付帯工事

3. 工期

ボイラー更新工事 2020年6月～2021年12月

4. 設備投資額

7億円

当社グループは、2030年の企業像「グローバルに変化する社会と向き合い、社内外の知を融合することで、人々の豊かな暮らしに役立つ新たな価値を提供する企業グループ」「培った信頼と磨き上げた技術により、情熱をもって未来を切り拓く、一流の挑戦者集団」を実現するために、取り組むべき重要課題（マテリアリティ）を特定しました。その一つに、レスポンシブル・ケア活動の継続的強化として、気候変動の緩和—設備改善による省エネルギー化、GHG排出量削減につながる燃料転換 を掲げています。今後も引き続き、環境・健康・安全確保の強化を目指してまいります。

以 上

本件に関するお問い合わせ先
日産化学株式会社 経営企画部 CSR・広報室 (東京都中央区日本橋 2-5-1 日本橋高島屋三井ビルディング) TEL:03-4463-8123 E-mail: csr_pr@nissanchem.co.jp